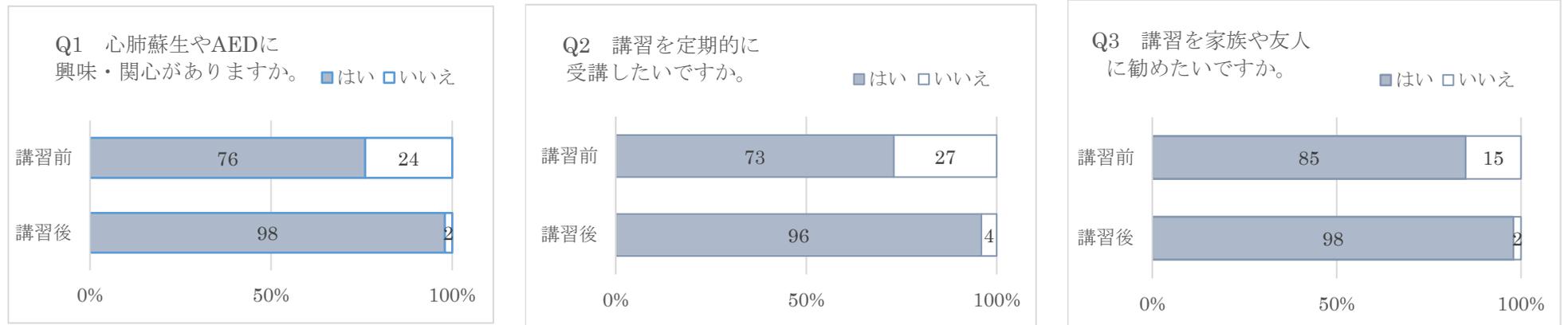


令和5年度 第2回 PUSH 講習会アンケート結果

講習会に参加した生徒の受講前後の意識および知識の変化を以下にまとめました。運動部員 49 名、希望者 3 名が受講しました。今回、参加できなかった皆さんは、令和6年7月「PUSH 講習会 I」に参加して「胸骨圧迫と AED の使い方」を是非、身につけてください。

【意識の変化】



講習の前後に意識と知識のアンケートを実施しています。今回の参加した多くの生徒が「救命講習を受けるのは初めて」のことでした。運動時はコンタクトプレーやボールが胸に当たることで「心室細動」等の不整脈による心臓突然死のリスクが高いため、講習をしっかりと身につけて各部活動での「救命リーダー」になって欲しいと伝えました。日本では1年間に約80,000人がなくなっていること、中学生や高校生にも心臓突然死が起こることをメッセージビデオで学びました。



受講後のアンケートではほとんどの生徒が解答欄いっぱい感想を寄せてくれました。救命の大切さを実感した素晴らしい感想でした。胸骨圧迫の手技やAEDの操作もよく理解し、声を掛け合いながら積極的に取り組む姿が見られました。救命の現場では勇気をもって自分から行動してほしいと願っています。

【知識の変化】 講習を受けることで正しい知識が定着したか、講習の効果を確認しました。講習前後で以下の質問に回答してもらいました。

《質問》

- ① 目の前で人が倒れたら、身体には触れずに「大丈夫ですか」と声をかける。
- ② 倒れてから1分経過するごとに救命率は約10%低下する。
- ③ 呼吸をしているかどうかわからない場合は胸骨圧迫をしない。
- ④ 胸骨圧迫中に肋骨が折れた疑いがあるときは、直ちに胸骨圧迫を中断する。
- ⑤ AEDは電気ショックをすることで止まった心臓を動かしてくれる機械である。
- ⑥ AEDによる電気ショックの後、意識が回復したら誤作動を防ぐためにパッドを外す。

《回答と正答率》

- | | | | | |
|---|-----|-----|---------|----------|
| ① | いいえ | 正答率 | 受講前 39% | 受講後 71% |
| ② | はい | 正答率 | 受講前 80% | 受講後 100% |
| ③ | いいえ | 正答率 | 受講前 39% | 受講後 75% |
| ④ | いいえ | 正答率 | 受講前 76% | 受講後 77% |
| ⑤ | いいえ | 正答率 | 受講前 2% | 受講後 69% |
| ⑥ | いいえ | 正答率 | 受講前 24% | 受講後 87% |

【生徒の感想】(一部抜粋) 《他にもたくさんの素敵な感想をもらいました。》

- ・身のまわりで本当に起きたら今日のようにうまくできるかわからないが、自分の全力を尽くして頑張ろうと思った。
- ・AEDを使ったり、胸骨圧迫などの知識や技術も大切だと思うけど、一番大切なのは人を救命しようと勇気を持って動くことだと思いました。
- ・自分一人じゃ絶対に（救命は）できないことだから、たくさんの人で救助を行うことが大切。勇気を持って声をかけ、自信を持って行動する。
- ・AEDが（音声などで）いろいろ教えてくれるのが、ありがたい。常にAEDがどこにあるのか把握していることが大切。
- ・心肺蘇生があまり身近なものだと思っていなかったけど、年間50人が学校で（心臓突然死で）命を失っていると知り、学んだ知識を使える状態にしておくことが大事だと思った。
- ・いちばん大切なのは一歩踏み出す勇気なのだとことを改めて思いました。重圧の中でも自信を持って行動したい。



AED 登録&検索アプリ
Team ASUKA